

夏休みを終えて—平和について考える—

校長 小野 恭平

長い夏休みが終わりました。2学期始業式は9/1(月)ですが、今日からの夏季休業中授業日で、実質的には2学期が始まったと言えると思います。皆さんにとっての夏休みはどうでしたか？学校の授業がない分、自分で管理できる時間が長かったのではないのでしょうか。自分にとって何が必要かしっかりと考え、自ら進んで行動していく主体性を養えた人も多かったと思います。

さて、話は変わりますが、8/13(水)、私はテレビで何気なくプロ野球中継を見ていました。マツダスタジアムで行われた、広島カープ対阪神タイガースの試合です。私自身は、物心ついた時からの生粋の阪神タイガースファンですので、当然、タイガース中心に野球観戦をしていました。ただ、テレビを見ながら何となく違和感を覚えていました。そして、その違和感に途中で気づきました。「広島のユニフォームがなんか違う。胸にCARPではなく、PEACEと書いてある」と。実は、その日は、18年目を迎えた「ピースナイター」の開催日だったのです。広島の選手の背番号は全員86番。背番号の上にかかれている選手名は全員がHIROSHIMAでした。86番は、今から80年前の1945年8月6日。広島に原子爆弾が投下された日を表しています。この、ピースナイターは原爆でお亡くなりになられた方々に対して、慰霊の意を表すとともに、特別な日である、「8月6日」に対する多くの方の想いや歴史を継承し、次の世代に引き継ぎきっかけになればと開催されているそうです(広島カープHPから一部抜粋)。皆さんも知っていると思いますが、その3日後の8月9日には、長崎に原子爆弾が投下されました。そして、1945年8月15日に、日本政府はポツダム宣言を受諾、無条件降伏し、第二次世界大戦が終結します。この戦争での日本の死者数は軍人(軍属を含む)・民間人あわせて約310万人と言われていています(世界全体では3000万人~4000万人が亡くなられたと言われていています)。80年前の8月、日本は悲惨な夏を過ごしていました。

あれから80年、日本は平和な時代を迎えていると言われていています。しかし、世界各地では様々な紛争が起こっています。残念ながら、現在も、紛争で命を落としている人がいらっしやるのが現実です。世界中の全員が平和な世界で生きているとは決して言い切れないと思います。そして、それは、私たちにとって決して関係がないことではありません。だからこそ、ピースナイターのように、平和に対する多くの方々の想いや歴史を継承し、次の世代に引き継いでいくことが大切です。

では、中学生のみなさんにできることは何でしょうか？「世界を平和にするために、あなたのアイデアを教えてください」という調査(第2回子ども世界平和サミットから)を見ると、「家族や友達を笑顔にする」「自分の近くにいる人を笑顔にする」「家族や友達に優しくして笑顔にする」といった意見がみられました。「自分さえ良ければ」という考えが、世界を平和から遠ざけることにつながるということだと思います。もちろん、自分を大切にし自分を笑顔にすることができない人は、周囲の人を大切に笑顔にすることもできないと思います。みなさん一人一人が自分を大切にし、周囲の人たちをそれと同等に大切にすることが、やがて、世界の平和につながるのではないのでしょうか。



【指定学校の変更につきまして】

神戸市では、住所地により決められた校区の中学校に通学していただいています。しかし、相当な理由がある場合は、指定学校の変更ができる場合があります。(例:「年末に隣の校区に転居するが、3月に卒業予定なので、今の学校で卒業したい。」など)。指定学校の変更を希望される場合は、学校へご相談ください。なお、指定学校に関する詳しい基準や手続きについては、神戸市ホームページに掲載しています。

【神戸市ホームページ】

<https://www.city.kobe.lg.jp/a80876/kosodate/gakko/school/area/kouku/kuikigai.html>